

教室不適應生徒の社会的自立と 学校での居場所づくり

～ほっとるうむの実践～

静岡市立服織中学校
特別支援Co. 高畑加奈

内容

- 1 自己紹介
- 2 服織中学校について
- 3 ほっとるうむの設置・運用
- 4 ほっとるうむを利用する生徒
- 5 ほっとるうむの抱える課題
- 6 本年度の運用
- 7 おわりに

服織中学校の紹介 (学校HPより)



校訓「友愛」「英知」
「鍛練」のもと、「自分を
創る～自分を見つめ挑戦で
きる生徒～」を重点目標に
掲げ、生徒共々静岡一の学
校を目指しています。

南藁科小学校
各学年1クラス
(122名)

服織西小学校
各学年1クラス
(93名)

服織小学校
各学年5クラス
(962名)



服織中学校

1年生	5クラス	159名
2年生	6クラス	191名
3年生	5クラス	172名
特別支援 学級	知的1クラス 自・情3クラス	22名

抱える課題

市・県・全国と比較しても不登校の割合が高い。

不登校生徒の割合

	服織中	静岡市	静岡県	全国
R2	7.4%	5.31%	4.70%	4.09%
R3	8.4%	6.81%	5.86%	5.00%
R4	8.2%	6.20%	6.30%	5.98%

ほっとるうむの設置

	ほっとるうむ	別室 (前ほっとるうむ)	フリースクール (民間の一般的なもの)
登下校時間	いつでも	支援員がいる時間 (5月からスタート)	決められた時間
時間割	○	×	○
授業参加 (教室)	○	○	×
授業の実施	○	×	△
体験活動	○	×	○

規約の整備（別紙1）

<ほっとるうむ（校内フリースクール）の設置>

- ・担任の設置
- ・教科担任の配置
- ・入級面談の実施（別紙1-2）
- ・個別の支援計画の作成

実際の運用ルール（別紙2）

- ・授業開始（8:30）から授業終了（14:30 or 15:30）まで学校にいれば、遅刻・早退扱いはしない。
- ・学校で何をして過ごすかは自分で決める。
- ・リモート授業や教科を選んで教室での授業に参加することもできる。
- ・ほっとるうむに来る各教科の先生から個別に教えてもらうこともできる。
- ・他者に迷惑をかけずに過ごす。



環境整備

旧パソコン
室を使用し
ています

出欠黒板

休 止 日 6 月 13 日 木 曜日

先生	[Redacted]							
登校	7:50	8:09	8:25	8:27	8:29	8:35	8:38	8:43
1	ほっと							
2	教室							
3				早退 (10:45)				
4			早退 (10:45)				早 12:20	早 12:20
5							教室	
6	ほっと							
下校								
登校					9:15			
1					ほっと			
2								
3								
4								
5							早 13:00	

登校したら、
登校時間や
1日の予定
などを記入
します。



予定

- ・時間割
- ・週報
- ・月報
- ・今日と明日の予定
- ・月予定
(ほっとるうむ版)
- ・給食予定



係活動

- ・清掃分担
- ・給食当番
- ・係



校内の協力

- ・パソコン
 - ・プリンター
 - ・クロムロッカー
 - ・パーテーション
- などなど

R5年度のほっとるうむ利用者

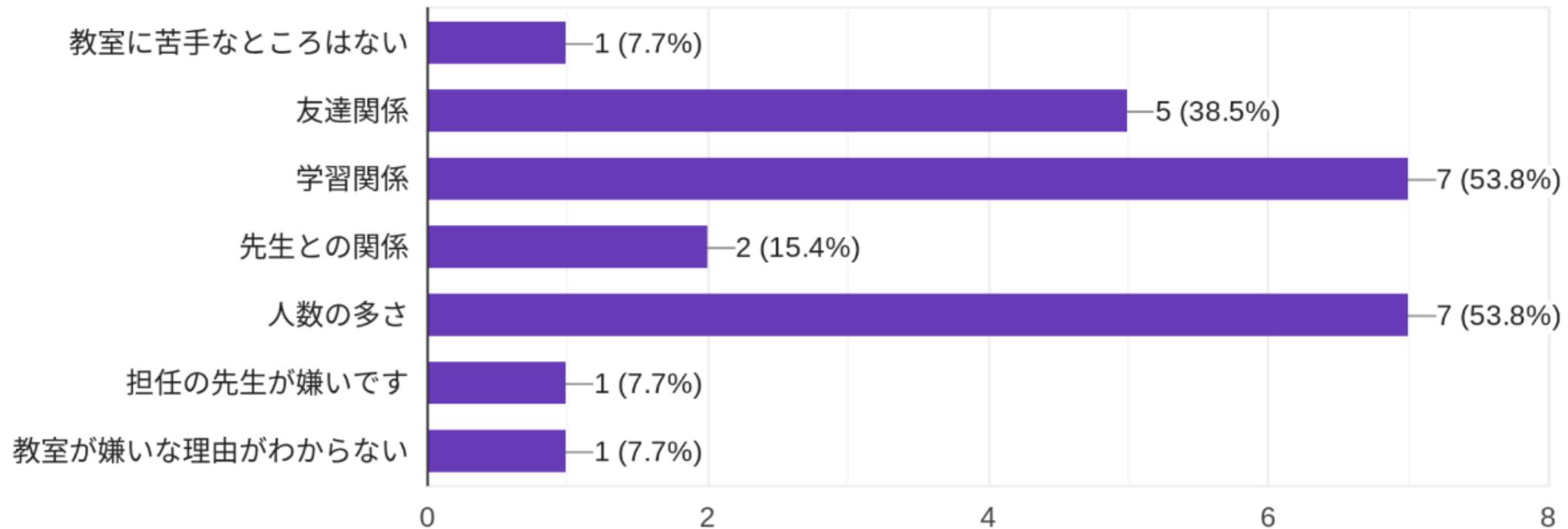
	1年生	2年生	3年生
常時利用	4	6(2)	8(4)
時々来室 (ほとんど欠席)	5(1)	6(1)	7
時々来室 (普段は授業に出ている)	2	3(2)	2
合計	11(1)	15(5)	17(4)

※ ()内は何らかの診断が出ている生徒

ほっとるうむを利用する生徒たちの意識

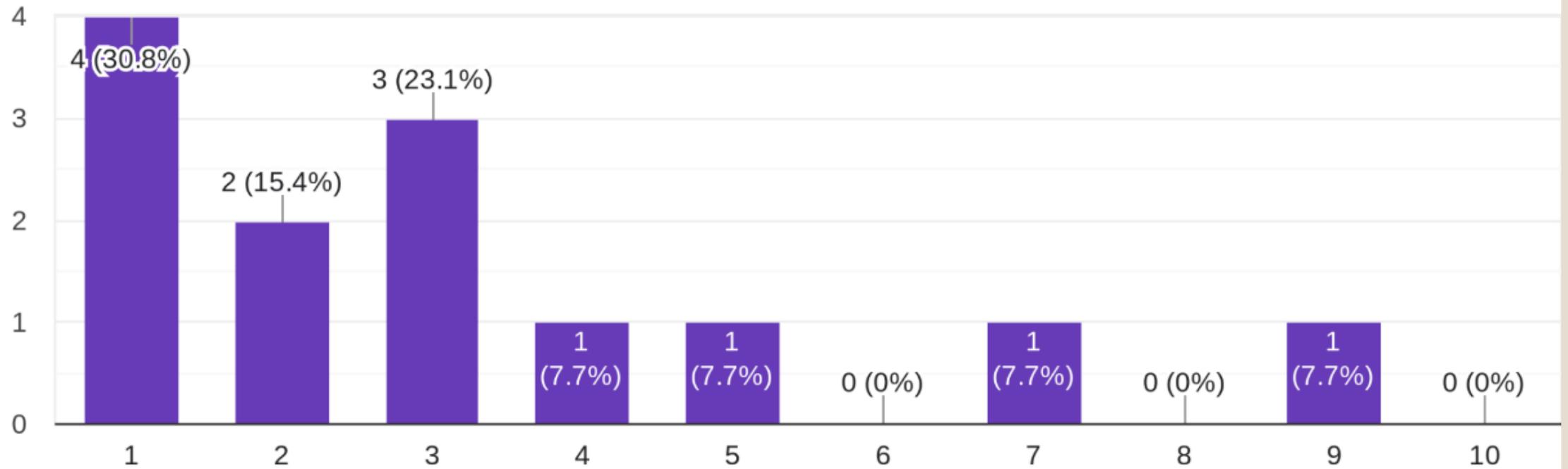
教室に苦手なところがありますか？ある場合は、どんなところが苦手ですか？（複数回答可）

13件の回答



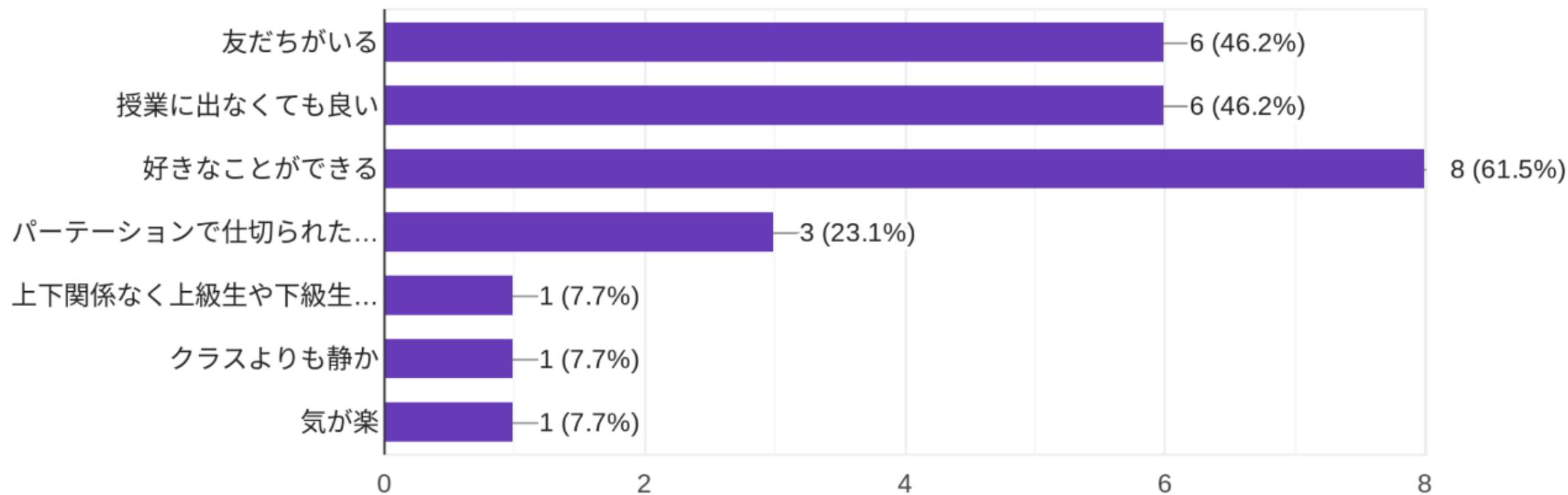
教室にいる時の大変さを10だとすると、ほっとるうむにいるときの大変さはいくつですか？

13件の回答



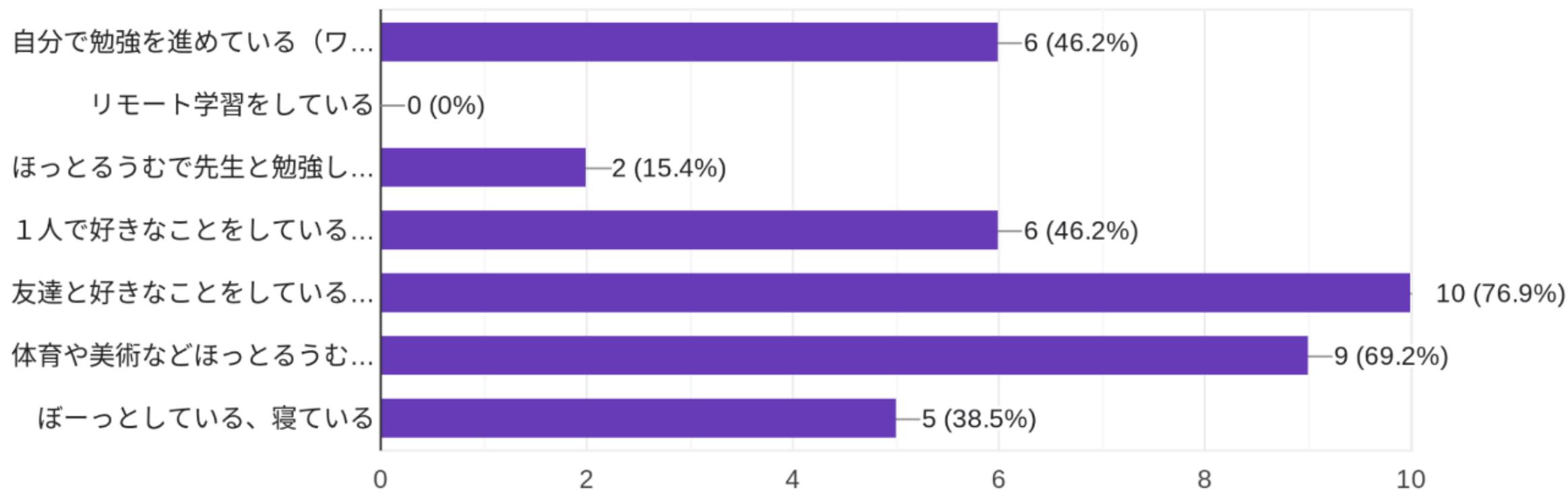
ほっとるうむなら来てもいいな~と思えたのはなぜですか？

13件の回答



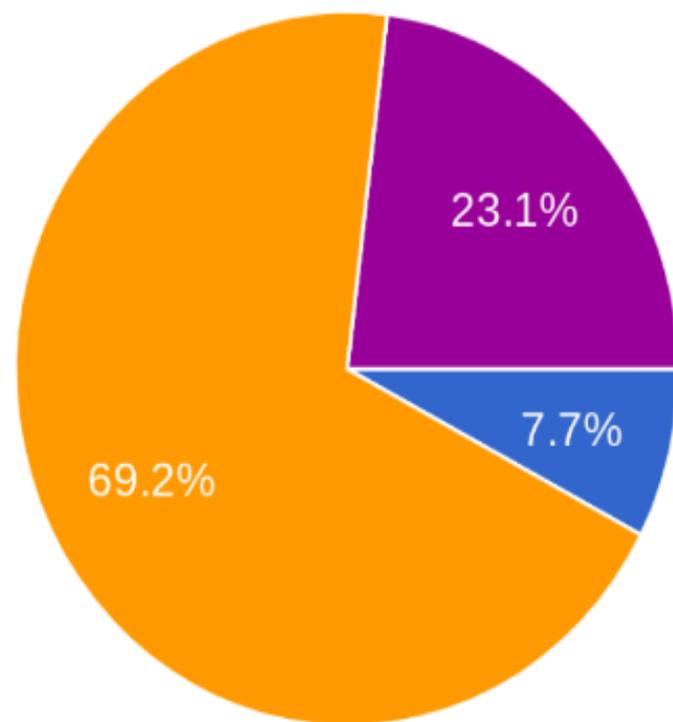
ほっとるうむでどんなことをして過ごしているか、主なものを3つまで選んでください。

13件の回答



進路についてどのように考えていますか？

13件の回答



- 全日制の高校に進学したい
- 定時制の学校に進学したい
- 通信制やサポート校に進学したい
- 就職したい
- まだ考えていない

生徒のアンケートより

- ・ 学習の遅れと多人数の空間の苦手さが不適應の原因？
- ・ ほっとるうむは居場所としての機能は果たしている
- ・ 友達と過ごしたいという気持ちはある
- ・ 進学のことを考え、学習はしたいと思っている生徒が多い



実態

- ・ 生徒が何もしない
(クロムブックで動画を見ている、ずっとしゃべっている、ずっと遊んでいるなど)
- ・ 人間関係が苦手な生徒が集まるため、トラブルが多い

課題

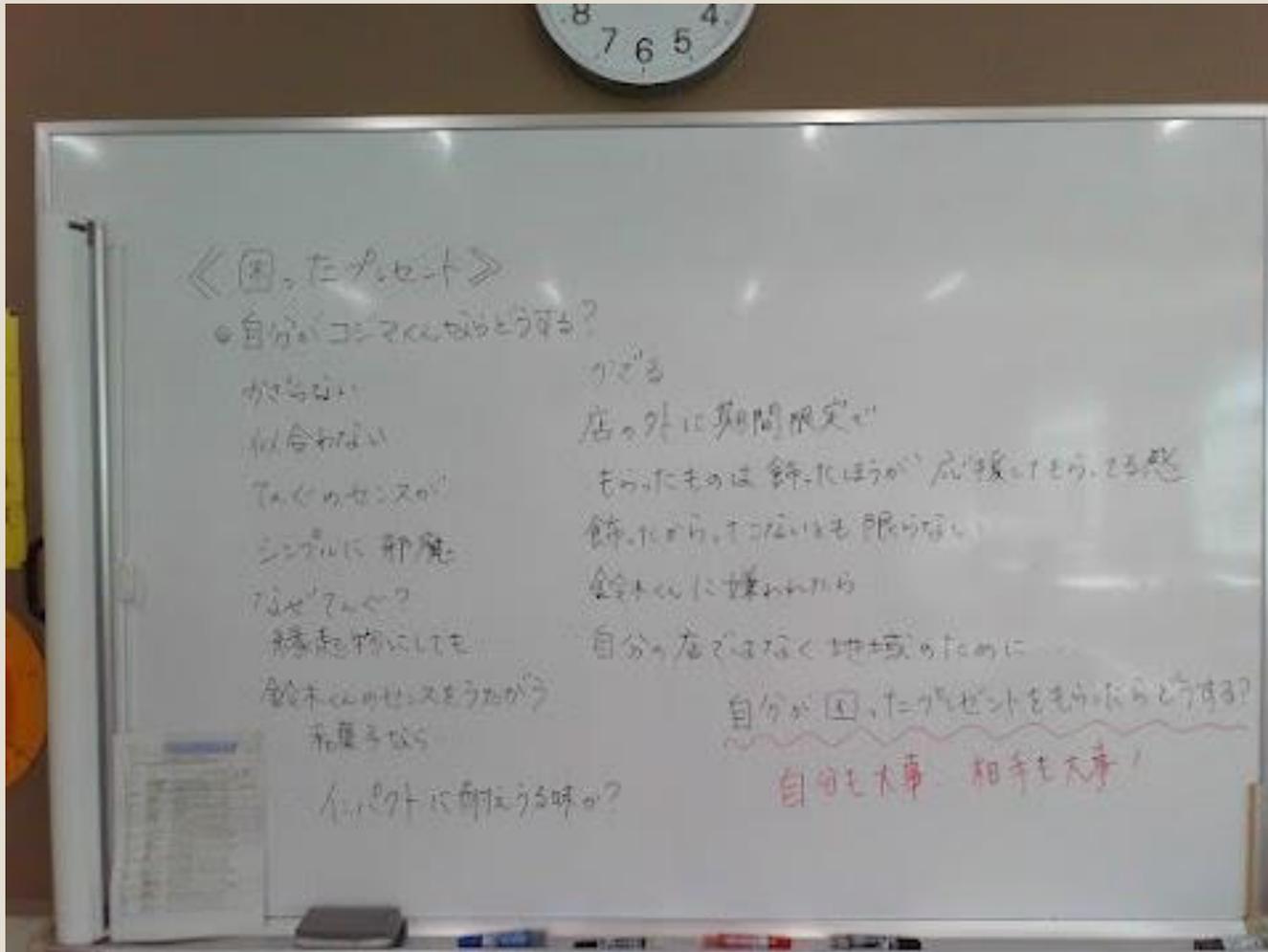
- ・ほっとるうむの担任を置いたことで、在籍学級の担任との関わりが薄くなる
- ・職員間でほっとるうむに対する意識が統一されない

先生はほっとるうむについてどう感じているのか？

ほっとるうむワークショップの実施



ワークショップをうけて…



道徳・SSTの時間の設定

目的

- ・ソーシャルスキルの向上
- ・生徒間トラブルを減らす

効果

- ・短期間しか行えなかったため、トラブルの減少には結びつかなかった
- ・生徒たちは面白がって参加していた

R6年度 変更点(別紙3)

- ・校内フリースクールという名称をやめ、担任も設置しない。
(担任⇒担当)
- ・「ほっとるうむにってきます」カード(1日版・1時間版)の作成。クラスへの設置。
- ・SSTや道徳に取り組む時間を週に1時間設定する。
- ・ほっとるうむ2の設置

ほっとるうむ2

<利用>

ほっとるうむにも
も入ることが
難しい生徒
個人面談



- ・時間割を教科ではなく、「学びの時間」（午前中）と「フリータイム」（午後）に分ける。

	月	火	水	木	金
1	登校 予定確認 朝の会 (9:15~)				
2	学びの時間				
3					
4	美術	学びの時間	体育	学びの時間	道徳
5	体育	フリータイム	フリータイム	総合	フリータイム
6	学活		総合	体育	

○R6年度 教室に戻った生徒

- ・新3年生 5名

(昨年度 常時利用者 3名、時々利用者 3名)

- ・新2年生 1名

(昨年度常時利用者) 1名

○相談場所としての認識

- ・相談利用者 3名

課題

- ・別室に対する規程・方針の少なさ
- ・教育課程の問題
- ・評価・評定
- ・他校との情報交換の場がない
- ・小学校との連携
- ・校内の相談相手…??

ご清聴ありがとうございました